

は じ め に

校 長 松本 透

74期生の皆さん、入学おめでとう。心より歓迎します。

「ようこそ 四條畷高校へ。」

さて、皆さんは、何のためにこの四條畷高校に入学したのでしょうか。何をしようと思って入学しましたか。そして、どんな人間に成長したいと思っていますか。入学に際し、皆さんにきちんと押さえておいて欲しいのは、これらについてです。これらを自分の言葉で表現する。言葉にすることで、自分の意思の明確化を図ってください。そうすれば、それは意欲へと昇華していきます。まず、自分をどうしたいのか、そのことについて明確な意思を持つ。それは、畷高生としてこれからの3年間を有意義に過ごす上で、とても大切なことです。

この「進路の手引き」は、畷高の進路指導部が研究し、改良を重ねてきた、進路実現・自己実現のためのエッセンスが詰まった冊子です。この冊子を見て、皆さんはどんな印象を持ちましたか。「アレ？」という印象を持った人も多いのではないかと思います。進路の手引きなのに、ほとんど大学のことが書いてない。当たり前のことですが、大学は、人生のゴールではありません。進路について考えるとき、一番大事なのは、学校を卒業した後の自分の人生をどうデザインするかです。まずは、それを考える。それがイメージできれば、次はどうやってそれを切り拓いていくかです。

進路実現に向けて、今すべきことは、「知る」ということ。社会を知ってください。職業を知ってください。世界で活躍している人たちの色々な生き方を知ってください。いろんな学校について知ってください。入試の制度についても知ってください。そして、何よりも一番大切なこと。「自分」を知ってください。「自分」の中には、自分が気づいていない自分（「未見の我」といいます）もたくさんあります。高校生活での主体的・能動的な活動や多様な人との協働の中で、「未見の我」を発見してください。「自己理解」を深めることは、自分の人生を豊かにしていくために非常に重要なことです。ですから、この「進路の手引き 第1集」は、自分を知り、自分がチャレンジしていくものを知ることが主題になっています。

ところで、今わが国では、大きな教育改革が進行しています。2020年度から今の「大学入試センター試験」は、廃止され、「大学入学共通テスト」が実施されます。これまでの「知識・技能」を評価する問題から、「思考力・判断力・表現力」を評価する問題へと問題の質も変わります。皆さんが社会で活躍するころ、世界は、ますます「知識基盤型社会」の度合いが増していることでしょう。知識を吸収することから、知識を活用して新たな知識を生み出していくことが求められる社会へ。大学入試もそれに沿った変化が求められているのです。しかし、心配は、いりません。本校では、グローバル・リーダーズ・ハイスクール（GLHS）やスーパー・サイエンス・ハイスクール（SSH）などの取組みを通じて、既にこの教育改革が求めるものを先進的に実践しています。本校での学びを通じて、皆さんが確かな学力を獲得し、自己実現に向けて成長していってくれることを期待しています。

さあ、これから、一緒にがんばりましょう！